



11月恒例のお泊り保育では、皆様にご協力いただき、だいち組と思い出いっぱいの日を職員全員で過ごすことができました。ありがとうございました。

子どもたちのやりたいことや職員のであげたいことを組み合わせると、時間が足りないくらいの盛りだくさんの内容でしたが、子どもたちもここに今年もほっこりとした貴重な時間が過ぎました。

一年が過ぎるのが驚くほど早く、もう12月残すところ1ヶ月となり、『こんなこともあんなこともしたかったな〜』と悔やむ毎日です。

そんな中、以前から企画していたかえでカフェでの『皆で歌おう』の歌詞が出来上がりました。皆さんに公募していただいた言葉を合わせるとなんと素敵な歌詞に！！

保護者の方々のかえで保育園の生活のイメージや伝えて生きたい言葉が重なり、何だか原曲よりよいのでは？と思うほどです。

歌詞をご紹介しますので口ずさんでください。今年のおすすめソングです！

- 1) 手つなぎのぼるつき山 すべり台見つけた 遊びにくる虫たち 花の色水
ポケットにつめたどんぐり 裸足で土踏みしめる ひとりひとりの遊びが いますてきな思い出

巡りあいたい人がそこにいる やさしさ広げて待っている
はなもかぜもみんななかま いちばん素直になれる場所
忘れられない庭がそこにある 見つけた四葉のクローバー
はまもかぜもみんななかま ここはふるさと

- 2) 先生のおはようで一日が始まる ふわりふわりしゃぼん玉 笑顔あふれる
ぶつかり合う時もある 涙の後仲直り かえでで過ごした時間はね 宝物に

雨降る日があるから虹が出る 苦しみぬくから強くなる
進む道も夢の地図も 全ては心の中にある
助け合える友との毎日を いつまでも大切にしたい
進む道も夢の地図も ここはふるさと

先日、第三者評価の最終評価を終えました。この評価はマニュアルを作ることを目的とするのではなく、子どもたちや保護者の方々が利用しやすい施設作りと職員の質の向上を目指して第三者の評価を頂き、改善することを目的としています。開園して受審は2回目となります。来年早々に結果が出ますので、結果は追ってお知らせしたいと思います。かえで保育園では行事後にアンケートでそれぞれのご意見を頂きますが、労をねぎらっていただいたり、がんばれのメッセージを頂いたりすることで明日の保育の糧となっています。保護者の方や子どもが利用する施設という位置づけではなく、この歌のように「ふるさと」として懐かしくなくてはならない場所として進んでいけるよう運営していきますので、2018年もどうぞよろしくお願いいたします。

かえで保育園では、毎日過す環境づくりを大切に毎日子どもの様子や導線を考えながら過しています。

2階保育室では空間分けをすることで、また、子どもたちの遊びの展開が変わってきています。

今までは幼児クラスになっても、お子様のロッカーまで保護者の方がきてくださり、管理をしていただいていたが、12月より、入り口で健康記録を記入して頂いた後の作業、タオルをかける、ロッカーの管理、などはお子様が管理していくようになります。リュックも個人の引き出しに入れて置くようになります。

これは自分の荷物確認、必要なものの把握、整理の習慣をいびき組から、習慣づけていきたいと考えていますので、ご協力ください。持ち物の管理をすることで、忘れ物、紛失をしないような習慣を付けていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

また、それに伴い1日から3日で保育室の改装、子どもの遊ぶ環境ではお庭作りを行なっていきますのでお楽しみに！！

にこにこメッセージ♪

年の瀬、日暮れの時間が日に日に早くなってきました。園庭には子どもの大好きなしゃぼん玉が園庭のコーナーに置いてあります。しゃぼん玉=夏の遊びと思われそうですが、子どもたちは季節に関係なく、大好きなあそびを満喫しています。あそびが深まると、飛ばし方やしゃぼん玉の大きさにもこだわりを持ち、工夫をして作ったり飛ばせるようになってきました。年齢に関係なく、じっくりと取り組む姿が見られます。これからの季節どのように展開していくのか、子どもの様子を見ていければと思っています。

11月はだいち組のお泊まり保育がありました。保護者の方のご協力のおかげで全職員が参加でき、今年も子どもと共に考えた、オリジナルのプログラムで会は進められました。

職員一人ひとりが様々なプログラムを担当しますが、基本はだいち組の子どもたちの影の支えとなり、子どもたちがこんなお泊まり保育をしたいという願いを叶えられるよう流れを作り上げます。一部をご紹介します。今年、「お風呂でアイスが食べたい!」とびっくりな提案がありました。

晩ご飯のリクエストメニューは、カレー・ぎょうざ・ポテトサラダ・ハンバーグ・グラタン・たこやき、などなど、ここは子どもたちの話し合いで、グラタンとたこやきは別日に作ることになりましたが、大人のリクエストでこれに、おでんも加わり、子どもたちのクッキングのおかげで盛りだくさんの晩ご飯が出来上がりました。もちろんお風呂でアイスも食べました。先生たちが寝不足でも子どもたちと同様すっきりした朝を迎え、それぞれが少し成長したように感じています。たくさんのご協力をいただきありがとうございました。

主任保育士 藤森 寿美

せんせいからのおはなしコーナー

少し悲しいお話になってしまうかもしれませんが、最近の出来事で思いが強いのは小学校3年生の頃から飼っていた犬が老衰で亡くなったことです。

1人っ子だった私にとっては本当に兄妹そのもので、大事にしていたものを壊されたり食べられたりして大ゲンカしたり、脱走しようと逃げ出したのを必死で追いかけて連れ戻したりとエピソードを述べると笑えるような話ばかりですがたくさんあります。でもいつもそばにいて慰めてくれるのも愛犬で強い味方でもありました。あんなに小さかった犬がいつの間にか私の歳をも越していくなんで…なんだか不思議な気持ちです。始めはもちろん悲しみが強かったですが、今では天国で好きなだけ走って、食べて楽しく過ごしているだろう、見守ってくれる存在が増えたかなと温かな気持ちになってきました。

一緒に過ごした日々はかけがえのない時間です。「命の大切さ」について子どもたちにどう伝えていくべきか職員間で悩むこともありますが、その都度向き合って自分なりに伝えられることがあればなと思います。またいつかは卒園していく子どもたちとも一日一日を楽しんで大切に過ごしていきたいなと思います。

足立 真裕子

～ めばえ・ふたばからのお知らせ・お願い ～

・園用の上着のご用意をお願いします。

適しているもの：フードのない薄手のジャンパー、トレーナー

適していないもの：ダウン、フリース地の分厚いジャンパー

～ つぼみからのお知らせ・お願い ～

・連絡帳がなくなり、ノートに変更になります。詳しくは担任からお知らせいたします。

～ 幼児からのお知らせ・お願い～

・だいちぐみは玄関で靴を立て脱ぎ履きができるように声掛けをしています。保護者の方も見守ってあげてください。

ねらい：「お友達と一緒に過ごすことや真似っこすることを楽しむ」

う た：「手をたたきましょう・赤鼻のトナカイ」

わらべうた：「おちよず・まにまにけむし」

一気に寒くなり始めました。11月は肌寒い中でも公園にもでかけて外であそぶ楽しさを味わえしました。冬にしか感じるこのできない冷たい空気やひらひら落ちる葉っぱを目で感じた後、暖かい部屋で美味しいご飯を食べたり、ほっこりしたりなど保育者と共に「身体や心で感じていきたい」と思います。またお部屋では、指先を使ったあそびで集中してあそぶ楽しさも知ってほしいです。

“自然がいっぱい”

公園に何度もあそびに行くことができました。保育園にも葉っぱは落ちていますが、公園に行くと葉っぱの絨毯に包まれていつも見ることはない光景です。先生が葉っぱをはらはらと散らすと目をキラキラさせて葉っぱを目で追っていました。保育園でもできるだけ秋の自然に触れられるようにと考えていますが、公園に行くと子どもたちが触れるもの全てが自然物で一つひとつ形やさわ



り心地が違い、自然の魅力に惹きこまれていく子どもたちです。刺激たっぷり、子どもたちにとっては魅力たっぷりで大好きな公園です。

“いっしょに、あ～ん”

新しくお部屋にままごとあそびが始まりました。以前からふたば組であそんでいたお皿やコップ、スプーンがお部屋にもあることがとても嬉しいようで毎日みんなで同じコップ、スプーンを持って「いただきます」ともぐもぐ食べています。同じお皿を二つ持ち、移し替えることもできるようになり、こっちのお皿からあっちのお皿、あっちのお皿からこっちのお皿…机にこぼれると「あ！」と笑ってまたお皿にお片付け…こぼれたとき



には、大人はきっと無意識の内に「あっ」と言っているなと気づかされます。

“うんしょ、うんしょ”

ずっしり重たい押し箱。歩き始めた頃は箱だけを押すのが精一杯でしたが、保育園であそぶなかで築山をのぼったり、おりたり、でこぼこ道をたくさん歩いて足腰がとっても強くなりました。お友だちが座っても身体を斜めにすると力が入ることに自然と気づき、前傾姿勢で口を閉じて一生懸命押してあげる姿は何とも言えず可愛いです。



“担任の思い”

“先生と一緒に”“先生見てて”と子ども一人ひとりと担任が関わる時間を大切にして過ごした上半期でした。担任との関係が築けたことから次は、隣に居た友達に興味を持ち始めました。大人とのスキンシップは、身体をぎゅっと寄せて肌と肌が触れ合う心地良さを感じていましたよね。その関わりが身に染みている今の時期、お友達にも同じ関わり方を…とぎゅーとしにいくとお友達はそんな気分じゃなかったり…初めての友達との関係づくりは距離感から始まります。大好きなあまり近くへいってしまう今の時期ですが、もう少し見守っているとそっと背中合わせて心地よさを感じたり何とも言えない距離感で遊んでいる姿がみれるようになると思います。そうなる日までの変化を日々送迎時に一緒に見てくださいね。

ねらい：「友だちや保育者と一緒に、外で体をたくさん動かしてあそぼう」

う た：「あわてんぼうのサンタクロース」「赤鼻のトナカイ」手遊び：「パンダ・うさぎ・コアラ」

わらべうた：「もみすりおかた」「こっちのたんぼ」「つんなんごう」

11月には交通公園に散歩へたくさん出かけました。保育参加で来て頂いた保護者の方も引率ありがとうございました。子ども達の表情や仕草はいつもと違っていましたが、とても嬉しそうでしたね。

そんな中、めばえぐみも一緒にいった時は、「あぶないよ」と言ってあげるふたばぐみの子どももいました。少しずつではありますが、自分より小さい友だちへの意識が出てきていることに嬉しく思いました。

“散歩での気づき”



保育者が「今日は散歩に行くよ」の言葉に「やったー」と支度を始めるふたばぐみの子ども達です。2回3回といく事で「こうつうこうえん」と言えるようにもなりました。そして、公園に着いてから「ここはどこでしょう」の質問に「こうつうこうえん」と答えていました。園での約束事で「先生がいない所へ一人でいかないこと」のみを毎回伝えていますが、「公園での約束何だったかな？」の質問に「あっちいったりこっち行ったりしない」と指さしながら答えてくれるようにもなりました。同じことではありますが、一度もしくは二度伝える事で子ども達も覚えて保育者が常に言わなくても伝わっている事に改めて気づきました。散歩から帰ってきても、靴を直し帽子靴下を片付ける事も習慣づき、保育者が声掛けなくても、友だちをみて同じようにやってみる姿も見られるようになり成長を感じます。これから生活する中で、友だちへの意識が多くなってくると思います。今後も、保育者は子どもたち同士の関わる姿を見守り、場合によっては中に入って手助けしたりしながら過ごしていこうと思います。



“どんぐりマラカス”



散歩で拾ってきたどんぐりと、園庭に落ちていたどんぐりを使ってマラカスを一人一つ作りました。小さなどんぐりを手の中いっぱい拾って集めてきたことを話しながら、一つずつどんぐりを指でつまんで小さなペットボトルへ入れていきました。飾りつけに、好きな色のシールを選び、ペットボトルの周りに貼っていきました。たくさん貼る子どももいれば、所々に数か所貼る子どももいて、一人ひとつオリジナルのマラカスが出来上がりました。「みていっぱい」(シール貼りです)「どんぐりだよ」と他の保育士に見せにいく子ども達の姿も見られとても嬉しそうでした。

出来上がった後「どんぐりころころ」を歌いながら振ってみたり、保育者が「何の歌がいい？」と質問をすると「きらきらぼし」と子ども達のリクエストに応じて、みんなで歌いながら楽器あそびをしました。また子どもたちのリクエストも聞きながら、どんぐりマラカスを作って「音」楽しんでいこうと思います。

“担任の思い”

めばえぐみの友だちが部屋に遊びにきた時に、まだ話す事の出来ないめばえぐみの子どもが傍へ来ても、一緒にあそび目と目を合わせ時に笑っている姿が見られます。おもちゃを触られ「だめ」と言うこともありますが保育者が「こっちかしてあげたら？」と伝えると、『めばえぐみの子』と子ども達も気づき「はい」と渡して一緒に遊ぶことも増えてきました。逆にふたばぐみの子がめばえぐみへ遊びにいき、懐かしいおもちゃで遊んでみたりしながら、『自分の遊びたい場所』を大切に保育者同士声を掛けあいながら保育しています。今後もめばえぐみとの交流を深めながらみんなで過ごしていこうと思います。

ねらい：「友達と一緒に遊びの世界を楽しむ」

う た：「きよしこのよる」「あわてんぼうのサンタクロース」

11月になり寒い日が多くなってきました。外に出ると最初は「さむ～い」と言っている子どもたちですが、追いかっこをしたり、どんぐりを探したりしているうちに寒さを忘れて遊びに夢中になっています。

体育あそびも園庭で行うことが増え、半袖・半ズボンで元気に運動している姿は「子どもは風の子 元気の子」を思い浮かばせてくれます。12月も寒さに負けず元気いっぱいなつぼみさんで過ごしていきたいと思います。

“秋の絵の具遊び”



ある日、保育室に飾ってある緑と黄色のお絵描きを見ながら「今度は赤でかきたいな…」と子どもたちからリクエストがありました。そのリクエストに応え、つぼみ前のテラスに模造紙を張り、今回は赤と黄色を使って筆でお絵描きをしました。「見て！いっしょ～」と服の色と絵の具がお揃いなことを喜んだり、「オレンジになった！」と色の変化を楽しみました。

他にも横に長い線を線路に見立てて「王子動物園に行くんだ～」という子や、「ソウさんの鼻ながーいよ！」と自分自身も揺れながら描いている子がいました。前回の絵の具遊びよりイメージを持って描いたり、友達と思いや発見を共有したりすることが増え、子どもたちの変化を感じました。



“毎日パーティー！”

園庭ではどんぐりと砂場が大好きなつぼみさん。外に出ると一目散にどんぐりの木の下に集まり「あった！」「またあったよ！」とカップや手の中、ズボンのポケットをいっぱいにしていきます。探しながらどんぐりころころを口ずさんで「ころころしたらどこかいっっちゃうねえ…」と呟いている子もいます。



集めたどんぐりは水を入れてどんぐりジュースにしたり、誕生日ケーキのトッピングにしたりご馳走に変身しています。

犬の置物も大好きでよくごっこ遊びに登場します。病気になるったり治ったり、誕生日をお祝いしたり毎日大忙しです。

“担任の思い”

ランチルームの昼食の後にコップとデザートのお皿を自分たちで片づけることをはじめました。デザートに皮がある時はきちんとカゴに入れ、食器も種類ごとに上手に片付けてくれます。みんな出来ることが増えて少しずつお兄さんお姉さんになってきました。散歩を通して幼児さんとの関わりが増えると同時に、年下の子の面倒を見てあげようとする子も出てきました。してもらった嬉しいことを覚えているようです。異年齢での関わりの中で面倒を見てもらう側・見る側の両方をもっと経験出来たら、と思います。

林 奈津美・立田 瑛怜菜

ねらい：「季節を感じる・絵本の世界を楽しむ」

う た：「ゆげのあさ・お正月・クリスマスのうた3曲」

寒さを感じながらも園庭でもお部屋でも力いっぱい遊んでいます。園庭では鬼ごっこやむっくりくまさんなどお友達とする遊びが盛り上がっていて、逃げられて嬉しい、捕まっても楽しいとみんなの笑顔がイキキとしています。氷鬼ならぬお芋鬼ではお友達を助けるという役目があることで、助けてくれてありがとうという気持ちも芽生えてきているようです。室内では制作を楽しんでいて、作りたいものを自分たちでワイワイといいながら考えながら作っています。

“かっぱになりたい”



「おっきょちゃんとかっぱ」という絵本を見てから、「かっぱってなに?」「かっぱに会いたい」という気持ちが大きくなっていきました。ある日、紙皿を見たいぶきさんが「これってかっぱのお皿みたい」とかっぱのお皿作りが始まりました。絵本を見ながら「絵本はこんな風になってるよ」と言いながら同じような模様に塗ったり、縁に切込みを入れたりしていました。それぞれのお皿が出来ると頭に

乗せて出来上がり。「このままお外いってもいい?」とかっぱになったまま園庭へ。「かっぱはお水のところにいるの」とじゃぶじゃぶ池の周りでは何やらかっぱの家族ごっこが広がっていました。もちろんご飯の中はきゅうり…と思いきや「かっぱは何でもすきやねん」とハンバーグやケーキも作られていましたよ。いぶきさんのご飯の時間になると「きゅうりの時間?!」と嬉しそうなかっぱさんたちでした。



“こんなかっぱもいるよね”

かっぱのお皿作りが広がってくると、“かっぱ”と“かっぱ巻き”を掛けてかっぱ巻きをお皿の上に乗せられ、手にはかっぱの水かき、背中にかっぱの甲羅と少しずつかっぱに占められてくるように。新たなかっぱはやってくるのでしょうか…。



“担任の思い”

絵本の世界から広がってきたかっぱ作り。お友達が一人かっぱになると、あっという間にかっぱだらけになりました。絵本の中のかっぱと自分が同じ、というだけでも絵本の世界に入り込みますが、絵本の中のかっぱの世界がとても幻想的で魅了され、その絵の力が自然と子どもをかっぱの世界の中に引き込んでいっているのだと感じます。“わたしはかっぱ”と自分以外のものになりきる時間も大人には出来ない、今のいぶきさんにとって大切な時間だと考えています。 谷角早紀

～ひかりぐみ～

ねらい：「友達と一緒に遊ぶ中で友達の思いを考える」

うた：「クリスマスのうた 3 曲」「ピクニック」「お正月」

先月はつぼみ組と一緒に散歩に行く機会がありました。道を歩いている途中「ひかりさん！チェンジだよ！」と車道側にいるつぼみさんと場所を変わろうとひかり組同士で声をかけあう姿が見られました。園庭では寒さを感じながらも、鬼ごっこやうすまきゲームとみんなで声をかけあう遊びが流行りつつあります。鍵鬼ごっこではコーンの鍵をあけるお友達を助けたいという気持ちから、遊びも盛り上がっています。「助けてくれてありがとう」と子ども達の中で自然と言葉にでることも増えています。年下の子との関わりも増えています。だいちさんがさくらんぼ廻しや逆上がりに挑戦する姿を真剣に見つめることもあります。だいちさんの姿を見て憧れる気持ちを持ちつつ、そんなお兄さん、お姉さんのように年下の子と関わる中で優しさや助ける方法もこれから経験してほしいです。

“力を合わせて”

体育あそびから始まった鍵鬼ごっこからうすまきゲームやかごめかごめとルール遊びをする姿が増えてきました。鬼に捕まっても「助けて～」「最後まで頑張って！」と声が枯れるほど助けようとするお友達にみんなで声援を送ります。



時には鬼を誰がするか、何人鬼になるかを時間をかけて話し合うこともありました。最近では、子ども同士で最後まで話し合う中でこのルールはいいの？どうなのかな？と迷った時は「みんな集合して！」とルールの確認をしてから「よし！じゃあみんな逃げて！」とまた園庭を走り出しています。

“どっちが大きい？どんな形？”

いぶき組と一緒に掘ったお芋の大きさや重さ比べをしました。どっちが大きい？こっち？じゃあ重いのはどっちかな？と計りに乗せて2つのサツマイモを見比べていました。たくさんのサツマイモを計りながら「こっちの方が重いよ！」「数字掛ける人いる？」



と順番に並べてみたり、重さを書いたり、新聞紙でサツマイモと同じ形を作る子もいました。サツマイモの色は紫？茶色？とみんなで話ながら青色や黒色といろんな色を混ぜながら実物のサツマイモを見ながら作っていました。「本物のお芋みたい！」「こんな形の葉っぱつけてみたよ」と毛糸や画用紙を自分達で選んでいました。実物のサツマイモは重さ計りをしてからいぶき組と一緒に美味しくいただきました。

“担任の思い”

鬼ごっこでお友達を助けるために最後の1人になってもコーンをめがけて走り続ける姿、その姿を見て必死に応援する声が聞こえてきます。興味がある遊びにみんなでとことん楽しむ、遊びを作り上げていくひかり組らしい姿をみるのが出来たように感じます。みんなを助けたい気持ちから“ありがとう”とお友達から感謝される嬉しさを遊びの中で感じ始めています。線からはみ出ても他児から教えてもらうことで改めてルールに気付くことができたり、みんなで楽しむ為のルールをお互いの話を聞いて最後まで話しあうことを経験してほしいです。その経験からお友だち同士でのお互いの話や思いを受け止めてみる、お友だちの思いを知るきっかけに繋がってほしいです。

日笠 加菜

ねらい：「心地の良く過ごせるよう、生活の場を整える」「あそびを自分たちで広げる楽しさを味わう」
う た：「食いしんぼうが待ってるぞ」「たき火」

11月は園外に出る機会が多く、自分で持ち物を覚えたり必要なものを考え用意する経験が出来ました。忘れた時にはどのようにすれば良いのか、考えることも大切な経験の一つだと考えています。園外に出て気づいたことがあるのですが、靴の脱ぎ履きを座って行う子どもたちが多く、外に出ると立ったまま行う機会がほとんどでした。小学校での生活を想定し、洋服を畳むことも立って体の前で出来るように意識しているところです。靴の脱ぎ履きも日頃から意識して行えるように、見守ってあげてください。園内では“続きが早くしたい！”と思えるあそびがだいちさんの中で増えているように思います。図鑑で見つけたものを“試してみたい”と思い実際に自分で作ってみたり、栽培しているものについて調べたことを手作りの絵本にしてみたり…決められたあそびではなく、自分たちであそびを広げている姿が印象的な11月でした。今後も、どのようなあそびに繋がっていくのか楽しみです。

“かかしとぼくのひみつ”

子どもたちが楽しみにしていたお泊り保育が近づいてきた頃、だいちさん宛てに手紙が届きました。初めは不思議な気持ちと“誰からだろう”という気持ちが強く、様々な想像をしていました。

以前お手紙をいただいたこともあり、「お米をくれた長谷川さんからじゃない？」と予想する子が多くいましたが、手紙が何通も届くうちに「もしかしたら〇〇ちゃんかもしれない！」とお休みの子の名前を出していたり、「松秀幼稚園の子がくれたのかな？」とどンドンと想像は膨らんでいきました。

お泊り保育終了後、“すてきなプレゼントを届けます”と手紙がだいちさんの元へ届きました。そして園庭にいたはずのかかしが2階のテラスで花束を抱えていたのです。見つけた時には大盛り上がり、花をそれぞれ手に取り飛び回りながら友だちと喜び合っていました。

しかしよく数えてみると、花は15本しかありません。実は、だいち組16人に向けて15本の花が届いた時、みんなでどのように分け合うのだろうと思い用意したものでした。(だいちさんには内緒ですが…)

しかし保育者の心配をよそに、「じゃあこれは保育園に飾っておこう」と一人の子が提案すると、周りの子ども「うん、そうだね。そうしよう」とみんなが同じ気持ちでした。それからしばらく経った今でも、お部屋とにこにこ広場で綺麗に咲いています。

そしてみんなで花を飾る準備をしている時、AくんとBくんが折り紙コーナーの机で何かを作り始めていました。既に別のあそびに向かっているものだと思いそっとしていたのですが、しばらく経った頃、「先生、これかかしさんにあげたい」と折り紙で作った一輪の花を見せてくれました。訳を聞くと、「かかしさんのお花みんながもらって無くなっちゃったから」とのことでした。腕いっぱい花を抱えていたかかしでしたが、ぽっかりと腕の部分になにも無くなってしまった姿を見て、きっと何か感じたものがあったのだと思います。

その後Aくんはかかしの腕に折り紙の花を持たせると、その後も度々テラスに出て行く姿が見られました。気になり担任がこっそりと様子をのぞきに向かうと、折り紙の花を抱いたかかしの顔をじっと眺め、顔を見つめてにっこりと笑いかけていたのです。普段から恥ずかしがり屋のAくんは、きっと誰にも見られていないだろうと思いかかしにだけ見せた姿だったと思います。



“うれしいを伝えたい相手”

遅ればせながら、11月に大根の種まきをしました。寒い時期に入ってからということもあり、元気に芽を出してくれるのかと心配していた数日間を経て、かわいい小さな芽がいくつも顔をのぞかせました。一人の子が見つけたいち組の友だちに急いで知らせると、みんな大喜びでした。すると始めに見つけたAくんが一言、「Bくんが来たら、教えてあげる。だって今日お休みだから」とこっそり担任に呟きました。自分が嬉しいと感じた気持ちを“みんなと分かち合いたい”と友だちに知らせ、更にそこにいない友だちのことも思い浮かべるAくんの優しさに温もりを感じました。嬉しい時に“伝えたい”と思い浮かぶ相手が、おうちの方、保育園の先生、友だちと成長するにつれて増えていくことはとても嬉しく幸せなことですね。



“担任の思い”

大人の見えていないところでも、きっと子どもたちは様々な表情を浮かべたり、人や物と心の中で対話を行っているのだろうと感じた出来事でした。かかしを見て微笑んだAくんの気持ちは「かかしさん、良かったね」だったのか「そのお花にあってるよ」なのか、「お花をくれてありがとう」だったのか…私もAくんの気持ちを想像しながら様子を見守っていました。Aくんにその時の気持ちを尋ねることも出来ましたが、Aくんとかかしの間にある秘密のやりとりを大切にしておきたいと思い、心の中で留めておくことにしました。大きくなるにつれて子ども同士の世界も広がり、大人の知らないことも少しずつ増えていくと思います。しかし本当のところは分からなくとも、その子がどのように感じているのか思いを馳せたり、自らの力で世界を広げている姿をそっと見守ることで、子どもたちは安心して大きく大きく育っていけるのかもしれない、そしてそのような存在でありたいと感じました。

河本 彩奈

保護者の方からのおはなしコーナー

育児が体力的には楽になったなあと感じるこの頃です。最近子どもたちに会話力がついてきました。嬉しい事です。保育園でのお話が膨らんで終わりません。「家族での会話ある生活」の時間は今しかないので頑張ってお楽しみしたいと思います。

でもあまりにも長いので「早く寝たいです！」

ひかり組 まさこさん

先日は親子とも楽しみ半分、不安半分のお泊り保育でした。今まで親とはなれて泊まった事がないので大丈夫か不安でしたが、閉会式での姿はすごく立派で成長したように見えました。夫婦では老後について考えるよい機会にもなりました（笑）

だいち組 みゆきさん

9月で3歳になった息子。まだまだ甘えん坊で赤ちゃんだとばかり思っていました。

ところが、10月を過ぎたあたりからは「お手伝いしたい！」と言って、タオルをたたんだり、自分の服を片付けたり、簡単な料理を手伝ってみたり。保育園で色々なことを経験し、私たちの知らない間に出来る事がたくさん増え、驚きと共に嬉しさでいっぱいです。

つぼみ組 みづきさん

家に帰ってくると最近はずぐにプリンセスのドレスに着替え、ベールをつけたりネックレスをつけたり、お人形を抱っこひもで抱え、テレビを見ている娘。おしゃれが大好きで奇抜なファッションを楽しんでいる姿に思わず笑ってしまいます。

ひかり組 じゅんこさん

我が家の三男君は3歳になりだんだんとお兄ちゃんになってきましたが、やっぱりさすが末っ子などころもあり甘えるのが大好きで上手です。パパやママだけでなくお兄ちゃんたちにもたっぷり甘えます。そんな我が家の癒し系ですが、友だちの前だと「おれすげ〜だろ」とまるでワイルドなタレントの〇ちゃんみたいな話し方になります。甘えん坊のかわいい三男が友だちが近くに来ると急にそんな態度になるので面白くもあり、成長しているんだと嬉しくもあり、やっぱりかわいいなと心癒される母であります。

いぶき組 めぐみさん

お友達が大好きな娘。お姉ちゃん、お姉ちゃんも大好きでよくじーっとみえています。小さい子も好きで、よく名前も呼んでいます。

そして、おしゃべり大好きな娘です。

ふたば組 やすよさん

～お台所から～

一年もあっという間でもう12月ですね。12月は少し短いですが旬の美味しい食材がたくさんありますし、子ども達にとって楽しい事がたくさんあると思います。栄養士の2人も、子ども達に旬の食材をたくさん使った温かい食事を提供したいと思います。

<11月の食育の様子>

・おにぎり作り

つぼみ組の子どもたちがおやつにおにぎりを作りました。始める前に「おにぎり」の絵本を読んだあと、ラップを使って自分たちでにぎりました。最初は少し難しそうでしたが、だんだん慣れてくると「にぎにぎ、ぎゅっぎゅっ」と言いながら楽しそうに作っていました。自分で作ったおにぎりは格別だったようで、おかわり用にたくさん用意していたごはんもすぐになくなってしまいました。

・パン作り

先月のもちもちパン作りの時に「なんでパン作るのにドライイーストいれないの?」という子どもたちから話があり今回は本格的にドライイーストを使ってパン作りに挑戦しました。

午前中に生地をこねて、発酵させていた生地を調理室まで持ってきて「すごい膨らんだよ」と嬉しそうに話していました。膨らんだ生地をガス抜きすることや、しっかりこねることで美味しいパンができることを伝え、「ボール持ってあげる」「頑張って、頑張って」と友だち協力し合いながら作っていました。

・はくさいちぎり

お昼ご飯の中華スープの具のはくさいをつぼみ組が午前中にちぎってくれました。「みんなのお口に入るくらいの大きさにちぎってみてね」と説明すると「これくらい?」「見て見て」と言って自分でちぎったはくさいを見せてくれました。スープの中に入っているはくさいを見つけると「ここにあった」と言って嬉しそうに食べていて「明日もやりたい」と話してくれる子もいました。

・絵本の読み聞かせ

いぶき・ひかり組がお芋ほりをする日のおやつ後に、子どもたちの前で絵本を読みました。「いもいもほりほり」という絵本で、3匹の子ブタが協力しておいもを掘って焼き芋にして食べるというお話なのですが、おいもをほる時の「いもいもほりほり」という掛け声を子どもたちも一緒に言いながら絵本を見てくれていました。

その他に園長先生の金沢のお土産の「金時草」をだいち組の子どもたちの目の前で茹でて酢の物にしました。葉の裏が綺麗な紫色で、沸騰したお湯が紫色になると「綺麗な紫色や」と話していました。茹で汁も捨てずにゼリーにしておやつに食べました。又、山形の郷土料理の「ほうとう」は朝から小麦粉を練って手作りしました。12月も子どもたちと一緒に様々な食体験を通して、色々なことを学んでほしいと願っています。

<12月旬の食材>

だいこん・ほうれんそう・こまつな・はくさい・りんご・みかん・ゆず

<12月に予定してる食育>

おもちつき うどん作り ごま和えのごますり 五平餅作り 冬至のお話 おやつの前に絵本を読む



金時草



おにぎり作り



手作りほうとう



パン作り



はくさいちぎり



- 12月1日～3日にダンディタイム、かえてカフェの方々に協力していただいて、園庭の花壇作りを行います。みなさんご参加ください。
- 感染性疾患が出る季節となりました。朝の検温・体調管理をし、不調の場合は必ずお知らせください。
- 薄着で過すことを奨励しています。保温はしっかりしてください。肌着（おなかが見えるサイズ）を着用してください。
- 2歳児までは気温にあわせて床暖房が入ります。
- 幼児クラスの上着は動きやすいものをご用意ください。また、ロッカーの中の衣服の入れ替えをしてください。（荷物を入れますので必要な衣類をまとめてください）

こんなことしたよ♪

10日～11日にだいち組のお泊り保育がありました。以前からずっと楽しみにしていただいちさんでしたが、当日は緊張しながらもお友達とマジックやダンスを披露したり一緒にお風呂に入ったりさまざまな経験をする事が出来ました。その表情からは達成感と成長を感じられ、だいちさんにとって素敵な1泊2日となりました。家庭保育のご協力もありがとうございました。



園庭で出来たさつまいもでいぶき・ひかり・だいちさんたちで芋ほり体験をしました。いろんな形の芋に「おおきいよ」「でこぼこしてる」と子どもたちの反応は様々でした。また、その掘った芋で焼き芋作りもしました。園庭中に炭の焼いた匂いが広がり、ふたば・めばえのお友だちも興味津々でした。寒空の下でほくほくの焼き芋を食べる事ができ、とっても嬉しそうなお子たちでした。そして、焼いもの日畑の中からまたお芋のプレゼント。いぶきさんが見つけてくれました。お餅つきの日にいも団子にします。



★お願い★

- 冬季保育は12月26日から1月6日までです。お仕事がお休みの方、育児休業中の方は、ご家庭でゆっくりお過ごし下さい。
- 12月29日～1月3日まで休園です。
休み中の緊急連絡は
080-3862-3352（園長携帯）まで
- 1月4日はお弁当日となります。ご用意ください。



《12月の予定》

- 1日（金） おもちつき
- 1～3日（金）～（日）ダンディタイム DAY
＜園庭作り＞
- 5日（火） 眼科健診 14:30～
- 11日（月） みんなであそぼうの会 だいち
- 16日（土） たのしいかえでの日
*ご家族でご参加下さい。詳しくは後日お知らせします。
- 19日（火） 誕生日会
- 20日（水） 移動動物園
- 22日（金） おたのしみ会
- 25日（月） 月例健診
- 6日、26日 絵画
- 7日、14日、21日 体操

※冬期休暇 12月29日～1月3日

《1月の予定》

- 4日（木） 保育開始・お弁当日
※お弁当のご準備をお願いします。
- 20日（土） 西宮民間保育園新年の集い
保育は13時までとなります。ご協力をお願いします。

《2月の予定》

- 3日（土） せいちょう発表会
- 24日（土） 新入園児説明会